ひらおか

平岡地区町内会連合会

清田区平岡7条3丁目9－25 平岡まちづくりセンター内　TEL 883－7100　発行責任者：中川　昇　編集責任者：横山　勲

支え合い安心して暮らせる ふるさと平岡を

―認知症サポート元年―

平岡地区町内会連合会
会長　中川　昇

令和６年度の定期総会で再任いただきました。宜しくお願い申し上げます。今夏は大変な暑さが続きましたが事業は円滑に推進させて頂いており感謝申し上げます。

さて、人生100歳時代を迎え平岡地区も高齢化率が32.3%と高くなってきております。高齢者の増加に伴い75歳以上の5人に1人が認知症になると言われ、平岡では660人と予想されています。

認知症は誰もがなる可能性のある病です。町連としましても、家族や周囲の方々が支え合い安心して暮らせる平岡地区をみんなでつくって行くことを目指し、今期から【認知症サポート元年】として関係機関のご指導のもと取り組みを始めました。認知症サポート研修者は、偏見を持たず認知症ご本人やご家族の応援者で、12月末で100名ほどになります。

今年は、地震、台風、記録的な大雨による被害等予想が出来ない自然災害に各地で見舞われました、平岡地区には月寒断層が有り震度6程度の地震が想定され、学校での避難所運営訓練を継続して行ってきました。

また、依然として新型ウイルス感染症の恐怖と衛生面等、更に集団生活からのストレスが発生したりしています。今一度、在宅避難で推奨されている耐震診断、家具転倒防止、家の安全策、当座の食料、携帯トイレ等準備しておく事が肝要だと思います。

ところで、交通事故件数は減少していません。例年これから季節的に薄暮の自転車事故が発生していますが、特に子ども達、高齢者の皆さまは注意して下さい。

8月4日に『ENJOY平岡夏祭り』を平岡樹芸センターで行いました。緑に囲まれ、晴天の下約1200人の来場を頂き、親睦、交流されていました。

平岡地区は緑が多くクリーンで、買い物、病院が近くて便利、交通機関にも恵まれ、親切な人が多い等最近入居されてきた人が言われていました。

高齢者の交流見守り、健康増進、子育て支援に福まちが取り組み、また、9つある老人クラブではカラオケ、パークゴルフ、茶話会等を楽しんでおります。

これからも、安心安全で楽しい行事を計画して参ります。結びに皆さまのご健康とご多幸を祈念申し上げご挨拶と致します。

ご存知ですか
平岡町連ホームページを開設！

パソコンとスマホでご覧になれます。
新アドレスは次の通り。
https://hiraoka.kiyotamin.net/
スマホはQRコードから手軽にご覧できます。

新QRコード

平岡の皆様、お世話になります

―着任のごあいさつ―

平岡まちづくりセンター
所長　佐藤　啓治

皆様、こんにちは。

この度、平岡まちづくりセンターに着任いたしました佐藤啓治と申します。前職では交通局に勤務し、地下鉄車両の改造・整備に係る管理業務に携わってまいりました。さらに前々職では保健福祉局里塚斎場で建物や焼却設備の管理、都市局住宅課で市営住宅の建替え・外壁改修の整備計画などに携わってまいりました。

まちセンの業務はこれまでと少し違いますので戸惑いを感じますが、平岡地区町内会連合会の発展に貢献できるよう全力を尽くしたいと思います。

最近では、町内会長様の要望にお応えすべく、玄関横に郵便受けを設置しました。まちづくりセンターの閉館日でも利用出来ますので少し便利になったかなと思います。

また、『ENJOY平岡夏祭り』の開催にあたりプログラムの検討段階から参加させていただき、地域交流を深めることの大切さ・難しさに直面し、大きな経験を積ませていただきました。平岡地区町連は30年の歴史があり、その一員として地域の発展に携わることができることを誇りに思っております。

さらに、4月に着任した支援員の五十嵐さんと新渕さんと力を合わせ、皆様からのご指導を頂きながら、新しい環境で挑戦することに胸を躍らせております。皆様と共に、まちづくりセンターが夢づくりセンターと言ってもらえるように、より良い未来を築いていけるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に、お時間がありましたら、ぜひまちセンに遊びに来てください。皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

清田ふるさと遺産で思い出づくり

●平成19年「清田ふるさと遺産」に決定　●写真提供：樹芸センター

平岡は、公園が多くみどり溢れる町です。ほぼ中央には「清田ふるさと遺産」の樹芸センター（みどりーむ）があります。故・竹澤三次郎氏から土地と樹木の寄贈を受けて、昭和59年に開園しました。面積2.9ヘクタールの中に日本庭園、西洋庭園、芝生広場などを配し、約3000本の「おんこ」や、8種約800本の「もみじ類」が植えられ、紅葉の季節には素晴らしい色づきをみせ訪れる人の癒しの場所となっています。この場所が子供たち、孫たちに平岡で育って良かったと思われる様、夏祭り等の諸行事を通して、思い出づくりの場となってほしいと願うものです。

町内会連合会　副会長　大藤　繁（記）

第２回 エンジョイ ENJOY 平岡夏祭り開催！

笑顔と歓声！昨年を上回る家族連れで賑わう!!

ポストコロナの平岡に活気と賑わいをとENJOY平岡夏祭りは、暑い夏空のもと８月４日(日)、平岡樹芸センターにおいて開催されました。昨年に続き２回目となる今年のENJOY平岡夏祭りは、早くから平岡町連が関係機関や団体と準備を進め、1,200人を超える来場者で賑わい、子ども達の歓声とともに一日中盛大に行われました。昨年の第１回の後にぜひ来年も継続して実施を、と言う声のもとでの開催でしたが、今年は昨年にもまして多くの町内会の参加も見られいっそうの賑わいがありました。

オープニングは札幌市消防音楽隊の吹奏楽

▲札幌市消防音楽隊による吹奏楽

▲笑の会による「ひょっとこ踊り」

オープニングはメイン会場の芝生広場で、札幌市消防音楽隊の吹奏楽で始まりました。長く親しまれてきた「コナン」続いて「希望の轍」の演奏が子どもたちの手拍子のなかで行われました。演奏の中頃で、清田消防署による住宅用火災警報器の取り扱いがわかりやすい説明でありました。演奏のラストは「情熱大陸」の豊かな音色とともに軽快なリズムでしめくくられました。

午後は中川町連会長による開会宣言が行われた後、清田ダンスキッズによる元気のよい踊りで始まり、「笑の会」によるひょっとこ踊りが会場いっぱいに笑いをさそう中で和やかに進められました。

道内出身歌手 はかまだ雪絵さん～音域の広い歌声で会場を魅了

メインの中央広場では、室蘭出身で五大民謡大会で優勝した演歌・民謡歌手 はかまだ雪絵さん(吉幾三さんの弟子)が登場しました。

始めにニューヨーク・カーネギーホールで紹介したという、深みのある民謡などの歌声で会場は一気に盛り上がりました。続いて〝望郷じょんがら節・舟歌〟をアカペラで歌い、さらに〝ああ上野駅・リンゴの歌〟などのなつかしい歌、「糸」「祭り」など、音域の広い優しい歌声で終始会場を魅了してやみませんでした。

この日は最後まで夏らしい暑さもあり、午後にはお米など豪華な景品のビンゴ大会、盆踊り大会などが催されました。会場はたくさんの親子連れや帰省した家族が、子ども縁日・ヨーヨー・スライムづくり・チョロQなどを満喫。会場の一部となった駐車場ではキッチンカーも来たりと、ふだんとは違った樹芸センターを楽しむ夏祭りの一日となりました。

▲はかまだ雪絵さんが歌唱を披露

▲フィナーレを飾る子ども盆踊り

令和6年度　平岡地区町内会連合会　役員

会長……中川　昇
副会長……大藤　繁
副会長……串山　公雄
副会長……丹羽　則行
監事……佐藤　二三夫
監事……吉田　孜
総務部長……丹羽　則行
財務部長……串山　公雄
福祉厚生部長…水野　博
環境衛生部長…大藤　繁
防犯防災部長…中川　昇
交通安全対策部長……田井中　隆
青少年育成部長……北川　洋一
体育部長……佐藤　博之
広報部長……横山　勲
女性部長……細田　伸子
会館運営委員長…中川　昇

令和6年度　単位町内会　会長

平岡東町内会 会長……立野　和則
平岡ミサワ町内会 会長……渡邉　至宏
平岡コープタウン町内会 会長……佐藤　博之
平岡しんたく自治会 会長……佐川　了
南平岡町内会 会長……清平　和夫
平岡春風台町内会 会長……桐山　誠一
平岡団地自治会 会長……大藤　繁
平岡親和会町内会 会長……吉本　秀勝
平岡町内会 会長……水上　悟
パークシティ平岡町内会 会長…大家　みゆき
平岡第一自治会 会長……丹羽　則行
平岡第二町内会 会長……千嶋　洋一
平岡第三町内会 会長……佐々木　瞬一
平岡中央町内会 会長……小野　裕一
平岡北町内会 会長……齊藤　良平
平岡公園町内会 会長……安藤　英夫
平岡小学校前町内会 会長……菊地　学
平岡雪割草町内会 会長……谷橋　泉
平岡梅ヶ丘町内会 会長……山田　善眞
平岡シュヴァービング町内会 会長……黒澤　裕之
平岡南団地自治会 会長……畠山　千代子
シュヴァービング２番館自治町内会 会長…板　尚子
シュヴァービング９番館町内会 会長……西藤　彰悟
シュヴァービング１番館自治会 会長……寺西　一重
アリアパーク平岡町内会 会長……加藤　由美子
ウィズランド平岡町内会 会長……武田　勇人

編集後記

今年は元日に能登半島の地震その後の豪雨と続きましたが、被災された皆さま方に心からお見舞いを申し上げます。

今年度の町連は、急峻に進む高齢化に対応して認知症の研修を進め、安心して住み続けられるよう地域が全体で取り組んだ年でした。また、この地の大切な清田ふるさと遺産や、高齢化のなか長く見守り活動を続けてきた平岡北町内会の活動についても併せお読み下さい。

昨年に続き、故郷の大地「ひらおか」をとの思いでENJOY平岡夏祭りを催しましたが、皆さまの心により届いて下さるとうれしいことです。

暁暁たる響きのように明るい明日の平岡を願いつつ結びといたします。

編集／横山　勲

「認知症に優しい平岡」へ

ここが ふるさと!平岡の大地

ともに歩む、明日のために

地域で見守る安心のまち

認知症へ地域が一体となった取り組みへ

清田区第１地域包括支援センター　保健師　**馬　場　由　佳**

みなさんは、もし自分が認知症になったら、どのような生活を望みますか?
認知症になっても、住み慣れた地域で、尊厳と希望を失うことなく、家族や友人、近所の人たちと一緒に安心して暮らしたいと思う方はとても多いです。

認知症になっても「平岡」で暮らしていけるよう、町内会連合会、福祉のまち推進センター、民生委員と清田区、清田区社協、介護予防センター北野平岡、清田区第1地域包括支援センターで話し合いを重ね、「認知症の正しい理解の普及」を目指し、地域一体となって取り組んでいくこととなりました。

清田区の高齢化率は市内第４位

清田区の高齢化率は32.1%(R6.4現在)で市内第４位なのはご存じでしょうか。
実は平岡地区の高齢化率は、それを上回る32.3%（R6.4現在）で、区内では第２位となっており、65歳～74歳の前期高齢者が多いという特徴があります。

令和5年10月1日現在、札幌市の要介護等認定者に占める認知症高齢者の割合は9人に1人です。高齢者人口に占める認知症高齢者の割合は、年齢が高くなるほど上昇します。

平岡地区は、これから前期高齢者が後期高齢者となっていき、認知症を発症する方が増えていくことが考えられます。

「認知症サポーター養成講座」の開催

まず「認知症サポーター養成講座」を開催することとし、5月～9月にかけて各町内会会長、副会長、福祉厚生部の方々に行いました。この講座は、認知症の理解と当事者や家族の気持ち、認知症の方へ対応する際の心得等を学ぶ内容になっており、2005年から全国で展開されている講座です。10月には民生委員、福祉のまち推進センターにおいて地域の方たちと真摯な取り組みが行われました。

認知症に優しい平岡 ―― 高齢者等ＳＯＳネットワーク捜索研修会で安心安全

「平岡地区高齢者等ＳＯＳネットワーク捜索研修会」を毎年行っており、今年は平岡北エリアを対象とし10月1日に開催しております。これは認知症の方が困っている時に、どのように声を掛けたら良いか等、具体的な場面を想定しながら皆で考える研修です。

「認知症に優しい平岡」は、他の疾患においても「優しい平岡」づくりにもつながります。

各町内会で行なわれている老人クラブやサロン、個人的な集まり等で、予防的な講話や認知症サポーター養成講座を行いますので、ぜひ町内会会長や福祉のまち推進センター、民生委員、他清田区内4機関にお声かけください。

平岡の町内会活動を訪ねて ～平岡北町内会～

現在、平岡町連には２６の単町があり、それぞれ各町内会が毎日のふれあい中で、地域の方々の暮らしを安心と安全そして将来へ続くものへと日々務めています。

今回はそうした活動において、高齢化が進む中にあって地域住民の見守り活動を１１年の長きにわたり現在も継続している『平岡北町内会』を紹介します。

「助けあい・見守り活動」11年目を迎えて

――見守りの方に寄り添い心のこもった温かい活動で――

平岡北町内会福祉推進委員会　事務局長　**岸　本　悦　子**

平岡北町内会は、高齢で暮らしている方々が安心して生活がおくれることを目的に、平成25年4月に福祉推進委員会（委員長 横山 勲）を設立し、心のこもった「助けあい・見守り」活動を続け11年目を迎えました。その間、見守りとともに高齢者の現状を把握するアンケート調査を毎年実施し、見守り支援希望者に寄り添った温かい活動や福祉推進委員協力者が継続できる環境作りを進めてきました。

３つの柱――「見守り」「サロン」そして「広報誌」の全戸配布

見守り活動の柱として「見守り活動」の他に平成28年から名称を「となりぐみサロン」として実家の居間のような"集いの場"を開催しています。これはアンケート調査から「交流の場がほしい」「地域社会との繋がりを持ちたい」などの声をもとに実施しているものです。サロンでは見守る委員と見守られる方々が楽しく笑顔のあるひとときをもち、お互い癒やしとなる大切な交流の機会となっています。

地域への啓発活動では広報誌『平岡北・となりぐみ』を発行し、見守り活動に必要な情報や研修会などの内容をわかりやすい記事にして全470戸に配布しています。また、専門的な知識を学ぶため外部の関連機関の講師をお招きして研修会を継続して開催し、関心を促すとともに喜ばれています。

両隣りで助けあう住民協力員制度

福祉推進委員を長く経験した方たちから「会議には参加出来ないができる事は協力したい」との意見があり、両隣りで助けあう『住民協力員制度』を立ち上げました。

住民協力員は日頃から地域に関心を寄せて活動し「○○さんが玄関先で横たわっていたので、家の中へと介助したが心配なのでみてほしい」「○○さんの様子がいつもと違うのでみてほしい」などの連絡があり、その都度の対応により安心・安全な地域福祉が行われていると感じる瞬間です。

これからの見守り活動に明るいきざし

昨年、アンケート調査のため全戸訪問した際、「退職したら手伝います。」「小さい子がいてもできますか。」「隣の雪かきやゴミ捨てを手伝っています。」などの声があり、平岡北町内会の「助けあい・見守り活動」がこの先間違いなく継承されると感じました。これからもこうした明るい兆しの声に励まされて、高齢化が進む中で福祉推進委員会活動をいっそう進めて行きたいと思っています。

安心と安全の「絆」がつながるまちへ

【清田区主催：防災訓練】

10月5日 14：00～16：00 北野台小学校体育館で震度7の地震を想定した北野地区で防災訓練を行ないました。

【平岡地区「秋の交通安全」街頭啓発】

9月30日平岡南小学校グランド前の歩道で3年生・4年生の児童が清田区長、町連会長・豊平警察署・地域の交通安全担当の方々と共にスピードダウン・飲酒運転の防止に参加しました。